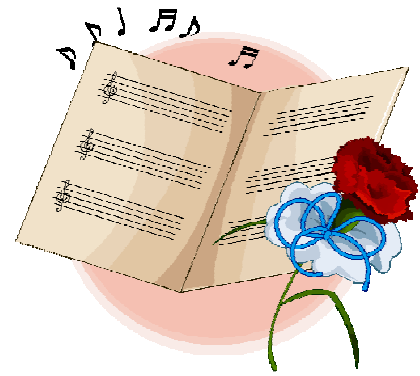


合唱祭。
なんと懐かしい響きだろうか。
先日、授業をした中学校の合唱祭に行った。



これはすごかった。
もう言葉にできない。
感動して本気で泣きそうになった。
もし、あの中学生の中に自分の子どもがいたならば私は間違いなく泣いていただろう。

まず、中学生の歌声。
若い。
もうこの歳の集団じゃあ、あんな声で歌えないだろうな。
特に男子。

しかもこの中学はうまい。
みんなが真面目に歌っているのだ。
発表前に円陣組んだりしちゃってる。
熱い。実に熱い。
最近、こういう熱さがないんだよ、私には。

さらに、あの合唱曲の歌詞。
実際、自分が中学のときに歌ってるときはなんとも思ってなかったが、実はすごくいい歌詞じゃないか！ということに今更気付いてしまった。
たとえば、BELIEVEという歌は
「たとえば君が傷ついて くじけそうになったときは
必ず僕がそばにいて 支えてあげるよその肩を」
それから時の旅人
「めぐるめぐる風。。。
優しい雨にうたれ緑が蘇るように 涙の後にはいつも君が生きる喜びおしえてくれた
今君と未来への扉開こう
めぐる風めぐる思いにのって懐かしい明日に会いに行こう
僕らは旅人 時の旅人」
なんて素晴らしい歌詞なんだ。
前日ほとんど寝てないせいか盛り上がってしまい、
そういえば、私が傷ついてくじけそうになったときに必ずそばにいて肩を支えてくれた友達がいたなあ、とか涙の後に生きる喜びをおしえてくれた人が

いたなあ、とか思い出して一人で感情移入しまくっていた。
そして、最終的には「そうだ、私たちは時の旅人なんだ」、と立ち上がって一緒に歌わんばかりの一人盛り上がりようだった。
とにかく感動して帰って来て寝た。

起きて再び感動をかみ締めていた。
今日も思い出しては感動していた。
改めて感動していたところで思った。
時の旅人...「懐かしい明日」とはなんだろうか。
これは深い。
明日が懐かしいときってのは懐かしい友だちに会うときだろうか。
懐かしい場所にいくときだろうか。
風はめぐる...
歴史は繰り返す...
前世の魂が私に残ってるから明日ですら懐かしいという意味なのか...
懐かしい明日...
深い。
誰かおしえてほしい。

とにかく今は合唱のすごさと中学生という 10 代前半の力のすごさに圧倒されている。ということを書いたかったのだ。
これからはパンクでもロックでもヒップホップでもない。
合唱曲だ。

クラブで合唱曲が流れるのもそう遠い日のことではない。
と思うのは私だけかもしれない。